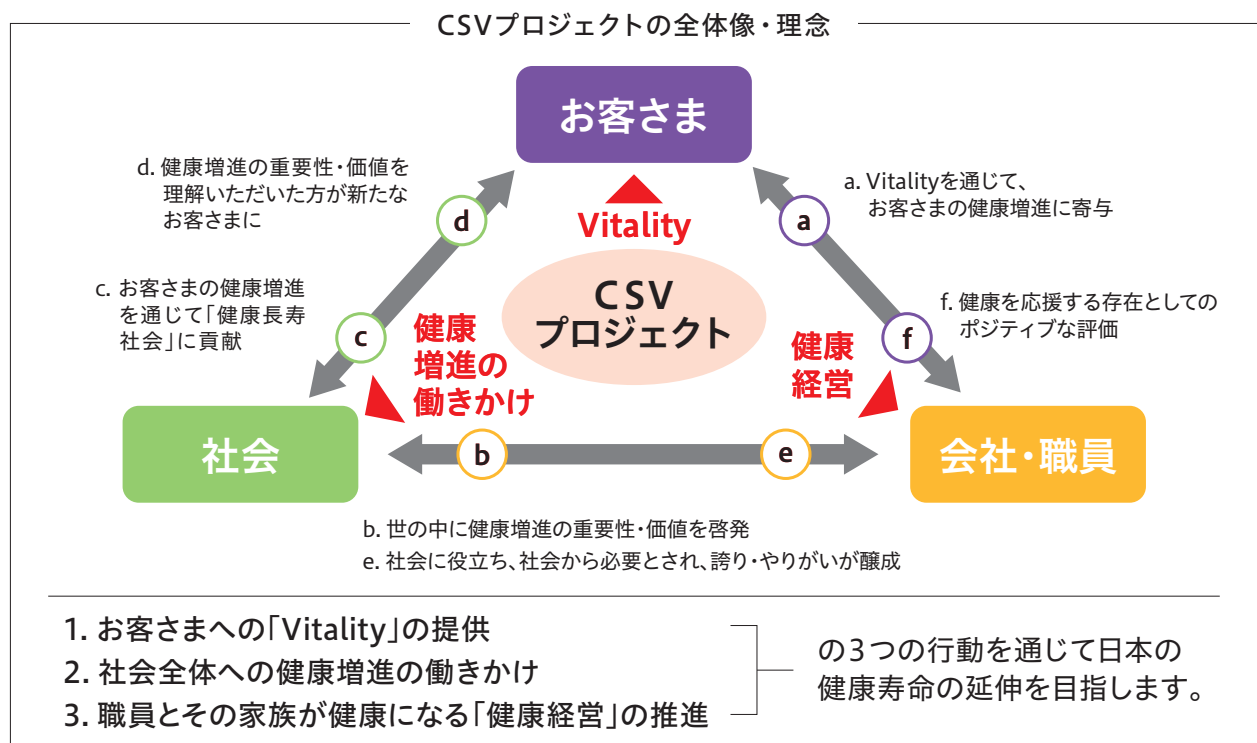


健康増進を軸とした

CSVプロジェクトへの取り組み

住友生命ではこれまで、「本業である保険事業の健全な運営とその発展を通じて、豊かで明るい長寿社会の実現に貢献する」という方針の下で、企業の社会的責任を果たすCSRの取り組みを推進してきました。

中期経営計画2019においては、こうしたCSR経営をベースとして、健康増進型保険“住友生命「Vitality」”を軸に、社会全体への健康増進の働きかけや、健康経営の推進を行うことで、「健康寿命の延伸」という社会的課題の解決に取り組んでいます。この取り組みを「CSV*プロジェクト」と位置づけ、「お客さま」・「社会」・「会社・職員」とともに、健康増進という新しい共有価値を創造することで、「日本の健康寿命の延伸」を目指しています。



*CSVとは「Creating Shared Value」の略語で、「共有価値の創造」を意味しており、本業で社会的課題に取り組み、「社会問題の解決」と「企業価値の向上」を両立させることを指しています。

■ 1. お客さまへの「Vitality」の提供

CSVプロジェクトの軸となる、健康増進型保険“住友生命「Vitality」”の提供を通じて、継続的な健康増進活動への取り組みを促すことによる健康状態の向上

を実現し、日本の健康寿命の延伸に寄与することを目指しています。

Vitalityとは

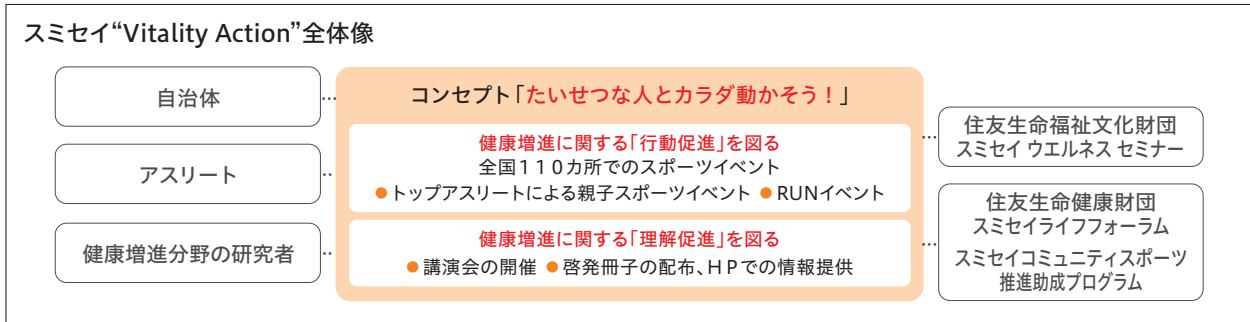
「Vitality」は、健康を改善するツールや関連知識、それを促すインセンティブ等を提供することで、保険加入者がより健康になることをサポートするプログラムです。

具体的には、加入者の年間を通じた健康増進活動への取り組みをポイント化し、累計ポイントによって年間のステータスを判定します。そのステータスが高いほど、保険料割引やパートナー企業が提供する魅力的なサービスが得られることで、健康増進に取り組むモチベーションを高めていく仕組みとなっています。2018年7月発売開始以降、2019年6月末時点で累計約25万件の販売実績となっており、社外からも高い評価を獲得しています。(詳細次ページ参照)

2. 社会全体への健康増進の働きかけ

健康増進をテーマとした社会貢献事業である「スミセイ“Vitality Action”」では、社会課題に対して1つの組織だけでなく、様々な主体が、お互いの強みを活かして取り組む「コレクティブインパクト」というCSVの特徴的なアプローチ方法を用い、自治体や財団、研究者、ア

スリート等の皆さまからご協力を得ながら、健康増進という社会課題に取り組んでいます。具体的には、以下のとおり健康増進に関する「行動促進」と「理解促進」に取り組んでおり、これらの活動を通じて社会全体への健康増進の働きかけを行っています。



a. 運動を始めていただくきっかけづくりのために【行動促進】

2018年度は様々な種目のトップアスリートによる「親子スポーツイベント」を全国56カ所で開催しました。今年度も引き続き、ランニングイベントを中心に「親子スポーツイベント」を開催していきます。親子一緒に運動することで、健康増進を図るとともに、家族の絆も深めていただくきっかけとしていただければと考えています。イベント開催情報については、ホームページにて順次お知らせします。



b. 健康に関する理解を深めていただくために【理解促進】

健康啓発冊子を配布し、運動の大切さ等を啓発しています。また、一般財団法人住友生命福祉文化財団や、公益財団法人住友生命健康財団と連携し、“健康”をテーマとした講演会を全国で開催しています。講師に元アスリートを招聘し“学び、実践する”プログラムを提供し“健康増進”を更に強化した内容としています。更に、ホームページに健康増進分野の研究者による「運動と健康の関係性」に関するコラムを掲載しています。

- スミセイ ウエルネス セミナー (一般財団法人 住友生命福祉文化財団)
- スミセイライフフォーラム (公益財団法人 住友生命健康財団)



c. 運動する機会を充実していただくために【理解促進】

公益財団法人住友生命健康財団による、地域のスポーツ団体への助成を行っています。心身の障がいや長期療養などにより社会参加に困難を抱える人々の団体を対象としたものと、地域の暮らしの中で一人ひとりの健康問題の解決につながる事を目的とした団体を対象としたものがあります。

- スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム (公益財団法人 住友生命健康財団)

3. 職員とその家族が健康になる「健康経営」の推進

一人ひとりの職員が個々の能力をいきいきと最大限に発揮するためには、何より職員やそのご家族が心と体の健康を大切に、健康な生活を送ることが非常に重要であると考えています。住友生命では、日本の健康寿命の延伸を目指して健康増進への取組みを進めてお

り、その出発点は、やはり職員一人ひとりの健康に対する「意識」と「行動」です。このような認識のもと、「住友生命グループ健康経営宣言」を策定し、経営的視点から職員およびその家族の健康維持・増進活動に取り組むことを全力でサポートしています。(P60参照)

CSVプロジェクトの社外からの評価

- 2018年日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞
日経ヴェリタス賞受賞

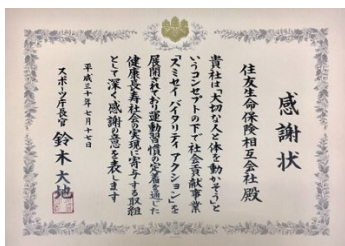
2019年1月、住友生命「Vitality」が、「2018年日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞 日経ヴェリタス賞」を受賞しました。同賞は、日本経済新聞社が毎年1回、特に優れた新製品・新サービスを表彰するものです。2018年度で37回目となる中、当社は生命保険会社で初の5度目の受賞(*)となります。

※2019年5月 住友生命調べ



- スポーツ庁長官感謝状受賞

2018年7月、スミセイ「Vitality Action」はスポーツ庁長官より感謝状を授与されました。この感謝状は、スポーツ活動に優れた成果を示し、スポーツの振興に貢献した者(団体含む)を顕彰することを目的とされています。本プロジェクトの「たいせつな人と体を動かそう」というコンセプトの下で、社会貢献事業「スミセイ「Vitality Action」」を展開し、運動習慣の定着を通じた健康長寿社会の実現に寄与できた点が評価されました。



- 神奈川県「ME-BYO BRAND」認定

2019年3月、住友生命「Vitality」が、神奈川県による未病の改善などに資する優れた商品やサービスの認定制度「ME-BYO BRAND」に認定されました。保険を含む金融商品が同ブランドに認定されたのは初めてであり、住友生命「Vitality」の特徴である「行動経済学の考え方を応用した健康増進活動を促すための仕組み」が生活習慣改善などの社会

- 第7回健康寿命をのばそう! アワード
【生活習慣予防分野】厚生労働大臣最優秀賞受賞

2018年11月、CSVプロジェクトが厚生労働省およびスポーツ庁が主催する「第7回健康寿命をのばそう!アワード【生活習慣病予防分野】」において、最高峰である「厚生労働大臣最優秀賞」を受賞しました。同賞は、健康増進・生活習慣病予防への貢献に資する優れた取り組みをしている企業等を表彰するものです。住友生命は2015年に「スミセイアフタースクールプロジェクト」で【母子保健分野】で最優秀賞を受賞しており、史上初の2度目の最優秀賞受賞(*)となります。



※2019年5月 住友生命調べ

- 第7回スポーツ振興賞
「経済産業省 商務・サービス審議官賞」受賞

2019年4月、スミセイ「Vitality Action」が公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会及び一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構が実施している「第7回スポーツ振興賞」において「経済産業省 商務・サービス審議官賞」を受賞しました。同賞は、スポーツや障がい者スポーツを通じて健康づくりをし、ツーリズムや産業振興、地域振興(まちづくり)に貢献している団体・グループ・企業の活動を顕彰するものです。



課題の解決に向けて、県民のみなさまの意識・行動変容につながるものとして評価されました。なお、「ME-BYO BRAND」については神奈川県ホームページを確認してください。



CSVプロジェクトの新たな取組み ～parkrun日本初上陸～



1. 「parkrun (パークラン)」とは

parkrunは、毎週土曜日朝定時に行われる参加費無料の5kmのウォーキング・ジョギング・ランニングなどを行う運動コミュニティイベントです。parkrunには大人から子どもまで、どなたでも気軽に参加することができ、習慣的に集い楽しみながら運動する場となることで、人々の健康増進に寄与し、地域コミュニティ形成にも繋がる取組みです。現在、parkrunは世界21カ国、毎週1900カ所以上で開催され、参加者、それを支える運営ボランティアとして

毎週30万人以上の人々が参加しています。

住友生命は、英国の非営利団体parkrun Global (創始者 Paul Sinton-Hewitt CBE) とパートナーシップを結び、日本における唯一のオフィシャルスポンサーとして、日本国内でのparkrun展開を全面的にサポートしています。2019年6月現在、日本初上陸である二子玉川公園(東京)を始めとして、柏の葉公園(千葉)・深北緑地(大阪)の3カ所で開催しており、順次日本全国に展開していきます。



2. CSVプロジェクトにおいて「parkrun」に取り組む意義

parkrunは、CSVプロジェクトにおいて「お客さま」・「社会」・「会社・職員」すべてに働きかけることのできる重要な取組みと捉えています。「お客さま」においては、Vitality会員の方がparkrunへの参加・完走(完歩)すると、Vitalityポイントを獲得でき、Vitalityの役割である健康増進活動をサポートする機会として活用しています。「社会」においては、地域における幅広い方々に向けた運動習慣機会の創出、および地

域コミュニティ形成支援となることを目指しています。「会社・職員」においては、職員が家族とともに自らが健康増進に取り組む活動としてランナー・ウォーカー・ボランティアへの参画を推進しています。

parkrunを通じた「お客さま」「社会」「会社・職員」全方位への取組みを推進し、CSVプロジェクトの理念である「日本の健康寿命の延伸」を目指していきます。

